

かなん タウンミーティング 2012  
第 2 部 意見交換会 議事録(要旨)

石川地域

第 2 部 意見交換会 (○住民の発言 ●行政の発言)

- ・南海トラフの地震などの際、多くの住民が避難できる場所があるのかどうか。避難場所をつくる計画はあるのか。
  - ・下水道も南の方はまだ整備されていない地区もあるが、いつ頃までに整備する計画か。
  - ・今後の福祉について、どういう計画をお持ちか。また、住民も参加し意見をいただいた地域福祉計画は、きちっとしたものを出していただけるのか。
- ・町地域防災計画により周知している各地域の避難場所において、想定される避難者数は確保できると考えている。想定外については、遠方や近隣とも連携し、避難場所を確保したい。また、役場周辺に核となる避難施設を確保していきたい。
- ・現在、中地域で整備中。今後、馬谷、芹生谷地域へと、平成 30 年の完了をめどに進めている。
- ・少子・高齢化が急速に進む中、地域の力が薄れ、老々介護、一人暮らし老人の見守りなどの課題が生じている。地域の問題の掘り起こしのため、先般住民の皆さんから色々と問題提起をいただいた。今後、これらを踏まえて、策定委員会の皆さんとともに計画づくりに取り組んでいきたい。
- ・福祉について思うところを述べたい。私は、道路特定財源の一般財源化にも大反対した。道は命を守る、経済・教育を運ぶものと考えている。
  - ・時速 30 kmにすると、子どもだけでなく高齢者も安全で、これも福祉。住民全員にいきわたるのが福祉。少子高齢化の中、支えられる人が、支えられやすい環境をつくる必要がある。福祉という言葉が随所には出てこないが、取り組みが弱いということはないので、ご理解いただきたい。
  - ・仕事や学校もあり、16,700 人の住民が全員逃げるというケースは想定しづらい。その時々シミュレーションをして、必要な場所を確保するのが現実的であり、取り組んでいきたい。
- ・町から農業の立て直しについての意見を求める通知が来たが、すべての産業が世界的に不景気な中で、簡単には良くするアイデアはない。このような難しい問題については、町から再生や元気づけるよいアイデアの提案があって、住民の意見を聞くべき。
- ・本町でも遊休農地が増え、後継者も少なくなってきた中、これからの農地の利用の意向について、アンケートでお伺いした。河南町は零細な農家が多く、後

継者も少なくなっていくなら、農地を集約し、できるだけ大きな面積を経営していただくことで利潤もでてくる。そのために貸し借りなど今後の農政の参考にしたいがため、皆さんにアンケートを行った。

・アイデアをまず示せという点については、まず最初に農地をお持ちの皆さんの意見をお聞きしたいということです。

○・これからの進捗について、どうやっていこうとしているのか。

●・今は、意見を取らせていただいております、今後、その結果を農政に役立てていきたい。

○・検討の結果は、いずれ住民にフィードバックしていただけるのか。

●・取りまとめを行い、アンケート結果を公表させていただく。

#### ●教育長スピーチ

・人口減は子どもの数にも影響し、将来、教育的な課題になることから、平成 19 年に統合の方向性を出した。当時、石川小学校は児童数の減少が顕著で、5 人という学年もあり、大宝小学校との統合の案について協議を進めさせていただき、最終的に皆さんのご理解を得て、平成 23 年度をもって統合となった。子どもたちが、私たちの期待どおり生活してくれるか不安もある中、できるだけ条件整備をしたいという思いでスタートしたが、元の学校がどこということに関わらず、仲良くやってくれている。当初ぎくしゃくのあった P T A も、今年度は石川からも積極的に役員になっていただいております、このような報告ができることをうれしく思う。

・石川小学校は保育園としてオープンさせていただいたが、10 月に実施した保護者アンケートでは、保育内容や保育方針については 100% 良い、職員の対応についても 90% 近い評価をいただいている。これに慢心することなく、今後も、園や学校とも協力し、更により園や学校になるよう頑張っていきたいので、よろしく願います。

○・柏駒線は、まさに北の玄関口だが、あまりにお粗末で、歩道の問題は何十年も前から府に要望いただいているが、一向に埒があかない。間もなくサンプラもオープンするが、その説明会でも渋滞の多い所での出入りを心配する声が多かった。芸大にも悩みで、山城バイパスができれば校門をそちらに移すとも聞く。そこで、府との話あいの進捗、可能性はあるのか、あるならいつ頃実現するのか。また、山城バイパスの可能性はどうか。

・東山の集会所から西の田圃は、調整区域から市街化区域に変更としたが、あるべき姿になっていない。町では、あるべき姿に向けて、どの様に誘導しようと考え、どの様な努力をしておられるのか。

- ・ 以前から機会あるごとに要望しており、この前も府へ行って来たが、柏駒線全体をみて優先順位をつけていくとの方針。用地を無償提供するとしても、良い返事がいただけない状況。山城バイパスは、現在休止路線に位置づけられており、まず事業の再開について要望しているところ。
- ・ 市街化区域編入の条件が今ほど厳しくなく、地区計画など、どういう手法でやっていくかということが明確に示さずに市区編入した地域であり、地主の開発意識にゆだねているのが現状。
- ・ 万代で 80 台程度の駐車場を計画されているが、農地であるため、府の方針が厳しく、変更に必要な会議が年に 1 回しかない。どうにか早くして貰える方法はないのか、住民との意識の隔たりが大きい。
- ・ 調整区域において、農振農用地区域の場合、駐車場への転換は非常に時間がかかる。それは、今後農業をやっていくという位置付けであり、優良な農地を保護するため、特別な理由がない限り転用が認められないため。まず農振農用地を除外するのに、最低 1 年ほどかかり、その上で農地法に基づく農地転用も、一定の要件をクリアしないと認められないため、どうしても時間がかかる。